

## 【サービスや設備投資に対する考え方や方向性を聞く】 NTT東日本の通信ネットワークと設備投資

講師

東日本電信電話(株) NW事業推進本部 企画部 事業計画部門  
設備部 設備計画部門 部門長 星野 理彰 氏  
(株)MCA 取締役 小藤 秀樹 氏

日 時 2012年12月5日(水) 午後2時～5時  
会 場 クラブハウス会議室：赤坂 東京都港区赤坂2-5-1 東邦ビルディング6F

キャリアによる設備投資は2011年度に2兆6,800億円にも上る。セルラーキャリアの投資が旺盛であるものの、NTT東日本も2011年度に4,203億円、2012年度には3,900億円を計画し、その多くは「フレッツ光」などのIP系サービスが中心である。今後、NTT東日本は光ブロードバンド・サービスに活路を見出す方針であるが、2025年を目標とした電話交換機の運用停止が決定した。

そのような中、今回はゲストにNTT東日本 NW事業推進本部 企画部 事業計画部門 設備部 設備計画部門 部門長 星野理彰氏をお招きし、NTT東日本における通信ネットワークやサービス、設備投資に対する考え方や方向性などについて伺う。

### I. スマートパイプを目指す主要キャリアのネットワーク投資戦略 ー国内主要キャリア各社のネットワーク設備投資戦略と動向ー

小藤 秀樹 氏【14:00～14:55】

ここ数年でキャリアを取り巻く環境が大きく変化している。音声サービスはインターネット電話の普及による無料通話の浸透、データ通信サービスではスマートフォンなどの普及によるトラフィックの急増である。しかし、キャリアにおいては音声収入の落ち込みが続いており、トラフィックが急増しても通信料は定額制がベースになっているため、トラフィック増加に見合う形で収入が増えていない。こうした環境の中、主要キャリア各社はいかにネットワーク投資戦略を進めていこうとしているのか。本講演では、2012年度に2兆7,000億円弱の設備投資を行う主要キャリア各社について、ネットワーク設備投資戦略や動向を明らかにしていくものである。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1. 主要キャリアの現状</b></p> <p><b>2. NTTグループのネットワーク投資戦略と動向</b><br/>(1)NTT東日本・NTT西日本<br/>(2)NTTコミュニケーションズ<br/>(3)NTTドコモ</p> <p><b>3. KDDIのネットワーク投資戦略と動向</b><br/>(1)固定通信事業(ブロードバンド・インターネット)<br/>(2)固定通信事業(固定電話)<br/>(3)移動体通信事業(au)</p> | <p><b>4. ソフトバンクグループのネットワーク投資戦略と動向</b><br/>(1)ソフトバンクテレコム<br/>(2)ソフトバンクBB<br/>(3)ソフトバンクモバイル</p> <p><b>5. 電力系キャリアのネットワーク投資戦略と動向</b></p> |
|---|--|

### II. NTT東日本の事業動向および設備投資の方向性

星野 理彰 氏【15:05～16:00】

情報通信市場全体では、スマートホンやタブレット端末の急速な普及に伴う多様な無線端末を活用した新たなサービスが登場する等、市場環境は大きく変化しています。無線ブロードバンドサービスとの競争も加わる非常に厳しい競争環境の中においては、よりお客様のニーズに合った安価で快適な通信サービスを提供し続けていかなければなりません。

本講演では、NTT東日本における今後の設備投資の方向性および、「フレッツ光」をご利用いただくお客様を拡大する取組み、ご契約いただいているお客様に光をさらにご活用いただき、末永くご利用いただくための取組み等について紹介いたします。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1. NTT東日本の事業および取り巻く環境</b></p> <p><b>2. NTT東日本の取組み</b></p> | <p><b>3. NTT東日本における今後の設備投資の方向性</b></p> <p><b>4. 光需要拡大に向けた取組み</b></p> |
|---|--|

### III. 質疑応答・ディスカッション

【16:00～17:00】

ゲスト： 東日本電信電話(株) NW事業推進本部 企画部 事業計画部門  
設備部 設備計画部門 部門長 星野 理彰 氏

コーディネーター： (株)MCA 取締役 小藤 秀樹 氏  
(株)MCA 主席研究員 斉藤 和友 氏